



インタビュー：編集部

当体会員 石原 一樹 (65期) ●Kazuki Ishihara

**Q** 独立のきっかけを教えてください。

**A** 独立をしたのは昨年5月ですが、自分が想定していた時期よりも早まったという感覚があります。

私は、平成25年1月、司法修習修了後、ヤフー株式会社の企業内弁護士になりました。当初、関西の法律事務所での就職を考えていたのですが、周囲に差をつけ、とがった人材になるためには、法律事務所で働くよりも当時まだまだ数が少なかった企業内弁護士を経験した方が面白いかなと思ったからです。ただ、弁護士になったからには、いつかは独立したいという気持ちを持ち続けていました。

平成27年には、弁護士会の野球部でお世話になっていた先生にお願いをし、外資系の法律事務所に転職しました。そこでは、将来独立する準備として、弁護士事務所はどのように成り立っているのか、事務職員はどのような業務をしているのかなど、弁護士業務に注力しながらも事務所内の動きを意識的に観察するようにしていました。

**Q** 独立前の事務所のボスに、いつ、どのように独立の意向を伝えましたか？

**A** 平成29年始めにボスとの個人面談で独立したい旨を伝えました。事務所には馴染んでおり、仕事も面白く、大変居心地もよかったです。ヤフー株式会社のころの人脈で個人事件も増えていたことや、現在のSeven Rich法律事務所のグループオーナーであるSeven Rich会計事務所から強く誘われていたこともあり、独立を決めました。

**Q** Seven Rich会計事務所との提携関係はどのように始まったのでしょうか？

**A** 前の事務所の個人事件は、ヤフー株式会社にいたころの人脈で、スタートアップ企業やベンチャー企業の支援が中心でした。そこで、独立するのであれば、税理士等の他士業と連携し、スタートアップ支援がしたいと思っていました。Seven Rich会計事務所とは、スタートアップ支援で意気投合し、ぜひ一緒にやらないかと誘われていました。

**Q** 平成29年5月に独立されましたが、事務所の場所を渋谷にした理由は为什么呢？

**A** 開業する場所は、スタートアップ企業が多く集まる渋谷しかないと考えていたため、他の場所は検討していませんでした。Seven Rich会計事務所も渋谷にあるため、現在は渋谷にオフィスを構えています。

**Q** 事務所の運営上、工夫されていることはありますか？

**A** 弁護士は、通常、自分の事務所にクライアントを呼ぶことが多いと思いますが、私は、なるべくクライアントの会社を訪問して会議をするよう心がけています。そこで、ノマドワーカー的に、どこにいても作業ができるよう、メールでFAXの送受信ができるサービスを利用しています。また、クラウドでデータを管理するようにして、書類の持ち運びを極力少なくしています。

**Q** 事務所の人員体制は？

**A** 私が事務所を不在にすることが多いため、事務所開設当初から事務職員をフルタイムで雇用しています。また、弁護士は現在、私を含めて4名在籍しています。働き方は各自に任せており、最低限求める事務所の業務を

やってもらえれば、出退勤等は自由です。自由な働き方ができるのが弁護士の魅力だと思っていますので、各人の働き方を尊重しています。

**Q** 取扱案件について、スタートアップ企業の支援業務に関わるものが多いとのことですが、どうしてこのような業務に関わるようになったのでしょうか？

**A** 企業内弁護士としてヤフー株式会社に勤めていたとき、スタートアップをはじめとしたベンチャー企業との付き合いが多く、ときには、世の中が劇的に便利になる画期的なサービスの創設を目指す起業家と交流する機会もありました。私は、とにかく新しいものが好きで、iPhoneも常に最新機種にしないと気が済みません（笑）。そのような私の気質もあり、世の中を変えたい、便利にしたい、という起業家を応援したいと思い、スタートアップ企業の業務に取り組むようになりました。そこからは、口コミで別の起業家を紹介いただくようになり、現在はスタートアップ企業の支援が業務の中心となっています。

**Q** スタートアップ企業の支援において、気を付けていることはありますか？

**A** 常に「クライアントファースト」を

意識しています。弁護士事務所に勤務していると、パートナー弁護士や裁判所に向けて、精緻な書面を書くということが一番の価値であると考えがちです。しかし、例えば、クライアントから売買契約書の作成を依頼されたとき、この契約書はクライアントの立場において、どのような意味があるのか、そもそもビジネス上の立場を考慮すれば、売買契約書ではないものを作った方がいいのではないかなど、突き詰めて考えるようにしています。

また、打合せも、事務所で行うだけでなく、クライアント先でも積極的に行うことにしています。企業を訪問し、その企業の雰囲気をつかむことで、クライアントの要望をより正確に受け止められると思っているからです。

**Q** これから独立する人にメッセージをお願いします。

**A** 独立するにあたって、やりたいことは何だろうということ突き詰めることが大事だと思います。現在は低コストで独立も実現できるようになりましたし、仮に上手くいなくても戻る道は色々あると思いますので、中長期的な目標を持ってその実現に必要なことを一つひとつ行っていけば、必ず道は拓けると思います。

**NIFA**



オフィスエントランスにて